

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Nov.2011
11
No.613

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan

特集

あなたの声を
聞かせてください



猪苗代の米
セシウム未検出



特集

あなたの声を聞かせてください

私たちの生活を一変させた東日本大震災から8カ月。放射性物質や風評被害という見えない敵との戦いも8カ月目に突入した。確かな手応えはなく、自分が勝っているのか負けているのかすら

わからない
この戦いに勝つために
もう一度 自分の気持ちと向き合うときかもしれない
私たちはどう行動したいのか
どんな未来を
手に入れたいのだろうか
あなたの声を聞かせてください

Pick Up
今月のイベント

保科正之公の
生誕400年を
祝う集い



今年で生誕400年を迎えた会津藩初代藩主保科正之公をしのぶ「保科正之公の生誕400年を祝う集い」は10月29日、学びいなどで開かれました。
式典では、前後、公町長が「正之公が掲げた民政の思想や施策を学ぶことは、非常に有意義。この思想が今、国や地域に求められている」とあいさつ。室井照平、会津若松市長と名君・保科正之公の大河ドラマをつくる会全国組織の伊東義人副会長が祝辞を述べました。
メインの対談では、会津松平家第14代当主の松平保久さんと県立博物館副主任学芸員阿部綾子さんが「将軍後見役の保科正之公と会津松平家」と題し、正之公の偉業などについて話し合いました。
松平さんは「正之公の生誕400年を迎える年に、東日本大震災など、いろいろな困難が生じたことに不思議な縁を感じる。会津が中心になって福島を復興していけというメッセージではないだろうか」と話し、阿部さんは「老中の監督役や幕府のかじ取り役として活躍し、11歳で將軍になった家綱公の後見役も務めた重要な人物。武断政治から文治政治への流れを作った一人」と正之公の功績をたたえました。

まちの応援マガジン いなわしろ
広報 猪苗代 Nov.2011
11 No.613



【撮影日】 10月14日
【撮影場所】 木地小屋地区

今月の表紙

米の収穫の合間に、昼食のおにぎりを頬張る(左から)渡部鶴雄さん、一ノ瀬勝さん・茉莉子さん夫妻。町内で収穫された米からセシウムは検出されず、町民はほっと胸をなでおろした。今日も猪苗代の米がおいしい

Contents — 【目次】

- 02 PICK UP
- 03 特集
あなたの声を聞かせてください
- 08 平成23年度上半期財政状況
- 10 スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO
- 12 まちの話題
- 16 笑顔でこんにちは／サークル紹介／保健だより
- 18 学びの泉
- 20 いなわしろタウンページ
- 24 暮らしの情報広場
- 28 みんなの美術館／食生活改善推進員コーナー

観光の先導役は 猪苗代と会津地区



みなとや 営業部長
渡部 一登 さん

震災以降、福島県は原発事故の影響に悩まされている。県外の人からは、福島全体が放射能に汚染されているようなイメージを持たれ、例年行われていた合宿などは、キャンセルが続いている。団体客の入りは思わしくない状況だ。

関東近県の一部よりも猪苗代や会津の線量は低い。安心・安全をPRして、猪苗代や会津地区が県の観光を引っ張っていないと、福島を訪れるお客さんがいなくなってしまうという危機感を感じている。

現在実施しているようなイベントを継続的に開催して、まずは猪苗代を訪れてもらい、それを足がかりにして観光につなげられればと思っている。

県内の人は、猪苗代の線量がそれほど高くないことを知っている。県の事業などを利用

する団体もあった。線量が高く、外での活動が制限される地域に住む子どもたちなどには、ぜひ猪苗代に来て楽しんでもらいたい。子どもたちの楽しい思い出は、きつとりピーターづくりにつながるからだ。例えばバス代の助成など、町独自の施策を打ち出すことも必要かもしれない。

浜通りには、働く場所がなく、県外に出ていく人や事業を再開できない事業所などがたくさんある。そうした人たちに、土地や雇用の場を提供して人口を増やせば、町全体に大きな経済効果を生むことができる。

お金が掛かることなので難しいかもしれないが、まずは動かないと何も始まらない。長期的な視野に立った方策を考え、実践することで、メディアにも注目されながら、県外にもアピールできる町になってほしい。

震災前は、地震について家族と話し合ったことはなかった。磐梯山が噴火したら、家族みんなで集まって、なるべく遠くに逃げようとか、漠然と話していたくらいだ。

震災後は、余震がきたらどうするかを家族で話しあった。広い場所に逃げる、倒れやすいもののそばには行かないなど、注意することをお互いに確認した。大きな地震を経験したことで、以前より具体的に考えられるようになったと思う。

中学校には、新しい友だちが増えた。猪苗代に避難してきた友だちとの関わりの中で、今まで自分たちが普通だと思っていたことが、当たり前にならなくなった。初めて気がついた。一日一日を大切に考えて生活するようになった。

悲しみのない 猪苗代町にしたい



猪苗代中学校 2年
薄 崇彦 さん

放射能問題については、放射線量の高い場所には近づかない、なるべくマスクをするなど、自分でできる範囲で気をつけるようにしている。原子力発電ではなく、自然エネルギーを利用した発電ですべての電力をまかなえるような未来になってほしい。いいなと思っている。

人間は一人では生きられない。みんなで助け合ってこそ暮らしていける。友だちとは、生きていてこそ楽しんだり、悲しんだりできるのだから、とりあえず何があっても生きのびようと思いをしていた。

危ないと思ったとき、町民みんなが安全な場所に避難できる町。災害のときに死者を出さず、みんなが一緒に暮らせる町。悲しみのない猪苗代町にしたい。町役場には、それが実現できる体制づくりを進めてほしい。

私たちはどうしたいか 行政は一体何に取り組むべきか これからの猪苗代に必要なことは 猪苗代町民大いに語る

芳本茶寮
梶 マサ子 さん



元通りの猪苗代に それが一番の望み

震災当時は、眠れない日々が続いた。予約はすべてキャンセルになってしまい、大変なことになったと実感した。毎日お店にキャンセルの電話を受けに行っていた。今まで感じたことのない悲しさで、胸が張り裂けそうだった。

半年が過ぎて、人はだんだんと動き始めた。これからはスキー場にお客さんが来るか、スキー場で働けるかという問題が出てくると思う。

仕事を持って生き生きと暮らせることは一番大切だ。仕事がない。人口減は、何についても影響が出てくる。スキー場に限り、どんな職種でもいいので、とにかく働ける場所を作らないといけない。磐梯山、猪苗代湖やジオパークなどを利用し、年間を通じて楽しめる何かをつく

り出せばいいと思う。放射線の影響を考え、東京に嫁いだ孫は里帰りもできなかった。もうすぐ生まれたひ孫を連れて帰省してあるので、会うのが非常に楽しみだ。万一のことを考え、町から線量計を借りて家やその周辺を調べた。線量は低かったが、以前は気にもしなかったことを、考えなくてはならないことが残念だ。

太鼓の会の集まりでは、被災した会同士、いろいろな話をした。特に浜通りはひどい状況だが、みんなで太鼓を貸し借りするなどして何とか活動している。震災の影響で、演奏する機会が減少したが、出演する機会があれば、町の人を元氣付けるとともに猪苗代の元氣をPRしたい。一刻も早く元通りの猪苗代町に戻れること、それが一番の望みだ。

今シーズンは、昨年までスキー場に来ていたスキー教室などの団体客が、ほとんどキャンセルになっていく。前売りのリフト券などは、なかなか売れないという話も聞いている。ホテルや宿泊施設は、相当なダメージを受けると思っている。

私のスクールは一般の人がメインなので、大きな被害は出ていないが、これから数年は厳しい状況が続くだろうと思っている。猪苗代では、冬の産業としてスキーに携わる人が多いので、この風評被害を何とかしたいと思う。

スキーレッスンは、例年に比べると少なくなると思うので、ジュニアの育成にあてようかとも考えている。震災だからというのではなく、猪苗代の子どものスキー離れを心配している。この町に育って、スキーを

しない子どもが増えるのは残念なこと。子どもたちが、気軽にスキー場に遊びに行けるように、親にも協力をしてほしい。震災でスキー客も観光客も減少すると思うが、一番怖いのは猪苗代のスキー文化が廃れてしまうことだ。

子どもがやらないスポーツは、先がないと言われていく。スキーにはお金も掛かるが、子どもたちが一生懸命に競技に打ち込めるシステムや補助などの整備、Uターン者が戻ってくるための仕事などが整備されれば、きつと大丈夫だと思う。

子どもたちが、スキーに夢を持つ環境を作ってあげたい。箕輪スキー場では、人工降雪機を1台増設し、1日でも早く営業を開始する方向で動いている。ぜひ町民の皆さんにも滑りに来てほしい。

スクエアスキーレッスン校長
伊藤 幸治 さん



猪苗代のスキー文化 を守り続けたい

風評被害も想定外 まさかこれほどとは



会津有機米研究会
小林重希さん

私たち会津有機米研究会は、米の仕入れから販売までを自分たちで手がけている。

農薬と化学肥料を5割以上削減した特別栽培米は、農水省の認証機関に栽培計画を提出し、2度の調査を受けて認証される

もので、先日その認証を受けたばかりだった。10年以上にもわたる取り組みのおかげで、首都圏の消費者から、多くの注文を受けることができていた。

しかし、今年は風評被害の影響で、注文が激減した。私たちは、風評被害がまさかこんなにひどいものだとは思っていません。販売ルートを探すために東京方面に向き、生活協同組合、小売店や消費者グループの人たちと話し合いをした。

私たちの説明を聞けば、小売店や消費者グループは理解してくれる。しかし、小売店が説明

をしても、消費者は福島と聞いても買わなくなる。「小林さんたちがまじめに米作りに取り組んでいるのは分かるが、売れないものは仕入れられない」という回答だった。

群馬大学の早川教授が発表した放射能の広がりや家の周りなどの線量を計測した、詳細なデータなどを持って説明に歩いたが、いまだに販売先が決まっていなかった。

ある時、講演を聞きに出掛け、日経新聞の取材を受けた。マスコミは、あまりにも騒ぎ立てすぎたのではないかと話をした。講演後の質疑では「風評被害でどうしようもない。消費者と生産者は、強いきずなで結ばれているなどと言うが、こんなことがあれば、全く相手にはされない。後継者もできてこれからは

いう時に、一生懸命に取り組んでいる農家は地獄を見ている」と訴えた。こうした声を、マスコミなどに発信していくことも重要だ。

農産物などの風評被害分は東京電力が保証するというが、どこまでやるのか、どこまでできるのかが疑問だ。旅館などの観光業の人たちとも、誰が加害者で、誰が被害者なのかをはっきりさせないと、うやむやのうちに終わってしまうと話している。

私たちは、農業会議、稲作経営者会議や全国農業会議所などを中心に、被害を取りまとめ、訴訟をする予定だ。

町が個別に補助を出すのなら、セシウムの吸い上げを防ぐ効果がある、塩化カリを支給するような予算を取ってくれば良いと思う。

広報には、放射性物質が体に及ぼす影響について、簡単に、分かりやすく説明する資料を掲載してほしい。ベクレルなどの用語解説、自然界にどのくらいの放射線量があるかなど、町民が放射能に対して理解を深められるようなものを作ってほしい。

町と私たちが、安全・安心をPRしていくこと。県外の人からの疑問・質問などに、なぜ安全なのかを、根拠を持って説明できることが重要だ。

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故は、いまだに町民生活に影響を与えている。

町内のある地区では、民間会社に調査を依頼し、独自に米の分析を実施した。結果は、セシウム未検出。セシウムが検出されていないにもかかわらず、福島の米の売れ行きはよくない。近隣の市町村からは、小さな子どもたちを乗せたバスや自家用車が、毎日のようにカメリーナを訪れている。少しでも線量の低いところで子どもたちを遊ばせようと、学校や保護者が連れてくるのだ。

町民の皆さんの話を聞いても、問題は一つも解決していない。しかし、震災直後よりは暗い感じがしなくなっているのも事実だ。

見えない敵と、どのように戦っていくのか、自分たちはどうしたいのかが、少しずつではあるが、はつきりと、見え始めたからかもしれない。

皆さんの声を受け止めた前後町長に、これからの方針や活動計画などについて話を聞いた。

Mayor's Voice

町民の皆さんのさまざまな意見を聞かせていただき、大変参考になった。町としても、全力を挙げて風評被害の払しょくや防災体制の強化などに取り組んでいく。

町では、町外からの宿泊者に対する助成を検討中であり、さまざまな方策で誘客を目指しているところだ。

現在のように経済が低迷している中で、企業誘致を図ることは非常に難しいが、前向きに検討を重ね、現在、各企業との折衝を続けているところである。



猪苗代町
hiroshi 町長
前後 公

本町は、活火山である磐梯山吾妻山や川桁断層を持つ地帯なので、火山防災対策などの災害対応については、万全を期さなければならぬ。現在、誘致を進めている道の駅を拠点として、防災ヘリやドクターヘリの導入も検討しながら、すべての町民が安心して暮らせるようなまちづくりを進めていきたい。

これからシーズンを迎えるスキーについても、各スキー場などと協力し、誘客を図っていく。先日発表された「雪マジ! 19」は、全国70カ所以上のスキー場で、19歳の人のリフト券を無

料にする企画だ。

県内では、スキーリゾートふくしま創造会議が中心となり、県内16カ所のスキー場が協力。19歳の人は、登録すればリフト券が無料になり、県内のスキーリゾートを満喫できる。

また、猪苗代スキー場では、独自に中学生以下の子どものリフト券を無料にして、誘客を図る予定だ。町民の皆さんには、機会があればこうした取り組みをPRしてほしいと思う。

そのほかにも、東京23区、茨城県、埼玉県、千葉県や神奈川県などの教育委員会を訪問しながら、冬のスキー教室を誘致。同時に、県内の各市町村への働きかけも実施している。

先日実施されたセビオ猪苗代湖ハーフマラソンでは、猪苗代産の野菜を使った3000食の豚汁や2700食のそばを提供して、食の安全・安心をPRした。

11月12、13の両日、開催される猪苗代新そば祭りも、食の安全をPRする機会としてとらえ

ている。

食の安全・安心をPRするよるイベントは、町内で実施するより、県外に出たほうが、より効果がある。首都圏などで実施したイベントでは、各会場で地場産品などを無料で配布し、PRを続けている。

米の安全については、放射性物質の調査結果を掲載した町のチラシを作成し、出荷、販売時に自由に使用してもらっている。今後も各種イベントでこれらを配布しながら、食の安全をPRしていく。

観光では、次のシーズンや翌年以降を見据え、次の一手を打ち続ける、攻めの行政、攻めの観光という姿勢を貫いていくことが重要だと考えている。

風評被害が終結を迎えるその日まで、町民の皆さんと英知を結集しながら、官民一体となって取り組んでいきたい。

そのために、私が先頭に立ち、どんどん次の一手を打っていく。皆さんの力を貸してほしい。

攻めの観光、攻めの行政で、

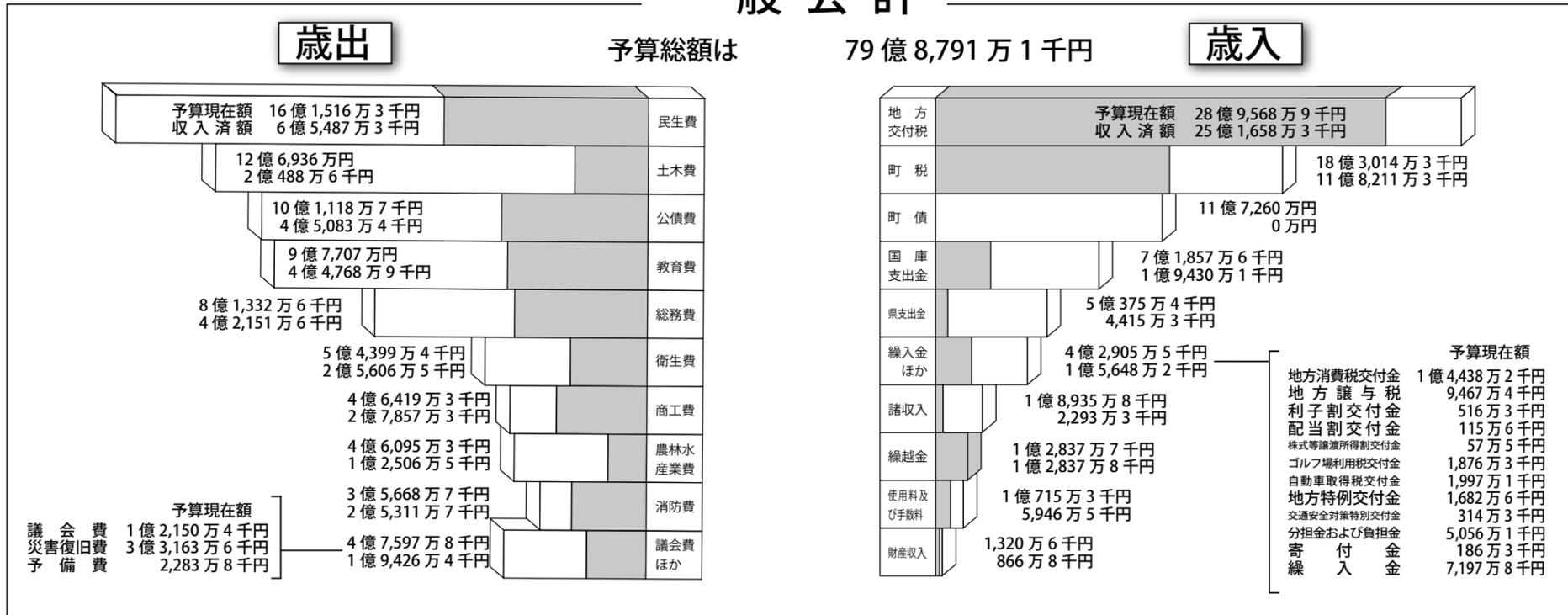
風評被害の払拭を目指す



平成 23 年度上半期財政状況

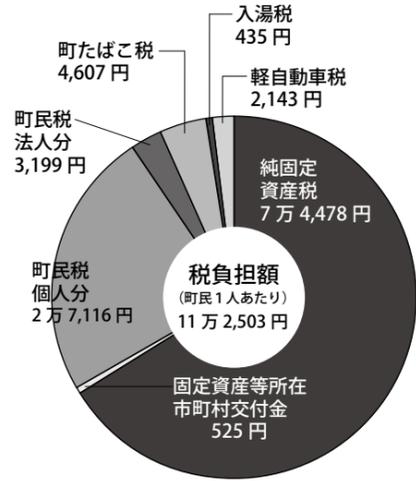
町のお金は このように使われました

一般会計



23 年 9 月未だに使った、町のお金の状況をお知らせします。これは、地方自治法と町条例に基づき、毎年 5 月と 11 月の 2 回、町の財政状況を皆さんに公表しているものです。一般会計は上半期中、5 回の補正をし、歳入歳出の予算現在額は 79 億 8,791 万 1 千円となり、9 月未だでの予算現在額に対する収入割合は 53・95%、支出割合は 41・15% となっています。国民健康保険などの特別会計は、上半期中、合計で 4 億 4,551 万 4 千円となり、9 月未だでの予算現在額は 48 億 3,547 万 5 千円となりました。9 月未だでの予算現在額に対する収入割合は 33・98%、支出割合は 42・96% となっています。

みなさんが納める税金



基金の状況

(平成 23 年度末見込額)

- ▼財政調整基金 7 億 9,316 万 9 千円
- ▼減債基金 1 億 7,166 万 6 千円
- ▼文化センター建設基金 8 億 6,133 万円
- ▼温泉センター建設基金 2 億 3,511 万 1 千円
- ▼ほ場整備事業推進基金 8 億 5,400 万円
- ▼公共下水道整備基金 3 億 1,355 万 4 千円
- ▼ふるさと創生基金 2 億 3,744 万 4 千円
- ▼リゾート開発環境整備基金 8 億 2,400 万円
- ▼ふるさと水と土保全基金 1 億 6,666 万 9 千円
- ▼地域福祉基金 2 億 2,011 万 2 千円
- ▼電源立地地域対策交付金基金 6 億 1,688 万 1 千円
- ▼世界選手権猪苗代大会開催記念基金 9 億 7,777 千円
- ◎基金を運用しながら事業を行うもの
- ▼土地開発基金 1 億 9,978 万 2 千円

用語をチエック

※予算額の大い歳出科目について解説します

地方交付税 所得税など、国が徴収した税金の中から、町の財政状況に応じて交付されるお金

町税 皆さんが町に納める税金

町債 大きな事業を実施するために、国や県および金融機関から借り入れたお金

国・県支出金 事業など特定の目的の財源として、国や県から交付されたお金

繰入金 基金の取り崩しなどにより繰り入れたお金

諸収入 町税の延滞金や貸付金の元利返還金など、ほかの科目に属さないお金

使用料・手数料 町の施設使用料や住民票の交付手数料などで、皆さんが支払ったお金

▼問い合わせ先
企画財務課財務業務
☎(02)2112

町債現在高 (23 年 9 月 30 日現在の平成 23 年度未見込額)

一般会計	特別会計
総務 2 億 4,890 万 6 千円	簡易水道事業 2 億 4,927 万 2 千円
民生 8,278 万 4 千円	下水道事業 37 億 7,084 万 2 千円
衛生 9,041 万 9 千円	特定環境保全下水道事業 9 億 9,151 万 2 千円
農林水産 4 億 4,888 万 3 千円	農業集落排水事業 16 億 462 万 9 千円
商工 621 万 8 千円	
土木 26 億 797 万 1 千円	◎一般会計合計 95 億 1,534 万 2 千円
営住宅 8 億 8,257 万 8 千円	◎特別会計合計 66 億 1,625 万 5 千円
消防 9,332 万円	●町債現在高合計 161 億 3,159 万 7 千円
教育 13 億 5,852 万 7 千円	
災害復旧 4 億 5,654 万 2 千円	
臨時財政対策債など 32 億 3,919 万 4 千円	

公営企業会計

水道事業会計予算収支状況 (消費税込)

区分	収入	支出	差引
収益的	1 億 3,585 万 8 千円	8,303 万 1 千円	5,282 万 7 千円
資本的	99 万 5 千円	3,707 万 6 千円	△ 3,608 万 1 千円

※資本的収支の不足額 3,608 万 1 千円は内部留保資金、建設改良積立金などから補てんしました。

特別会計予算執行状況 (公営企業会計を除く)

会計区分	予算現在額	収入済額	支出済額
猪苗代地区財産区	1,068 万 4 千円	175 万 7 千円	82 万 6 千円
翁島地区財産区	337 万 2 千円	204 万 6 千円	34 万 5 千円
長瀬地区財産区	2,346 万 9 千円	377 万 6 千円	247 万 8 千円
吾妻地区財産区	831 万 9 千円	232 万円	192 万 4 千円
国民健康保険	18 億 2,926 万 4 千円	8 億 9,928 万 3 千円	8 億 7,420 万 7 千円
簡易水道事業	1 億 4,990 万 4 千円	2,602 万 3 千円	2,551 万 2 千円
公共下水道事業	7 億 5,816 万 5 千円	9,680 万 6 千円	3 億 93 万 2 千円
特定環境保全水道事業	2 億 4,944 万円	1,406 万 6 千円	8,775 万 9 千円
農業集落排水事業	2 億 7,213 万 8 千円	1,805 万 7 千円	1 億 525 万 9 千円
介護保険	13 億 7,263 万 2 千円	5 億 3,233 万 7 千円	6 億 3,054 万 2 千円
後期高齢者医療	1 億 5,808 万 8 千円	4,664 万 8 千円	4,734 万 4 千円
計	48 億 3,547 万 5 千円	16 億 4,311 万 9 千円	20 億 7,712 万 8 千円

病院事業会計予算収支状況 (消費税込)

区分	収入	支出	差引
収益的	76 万 7 千円	337 万 9 千円	△ 261 万 2 千円
資本的	268 万円	5,617 万 8 千円	△ 5,349 万 8 千円

※資本的収支の不足額 5,349 万 8 千円は基金などから補てんしました。

Elementary school



心に響くハーモニー奏でる

野口英世博士顕彰記念町内小中学校音楽祭は10月7日、学びいなかで開かれ、町内6小学校の児童と3中学校の生徒合わせて789人が参加しました。

この音楽祭は、町教育委員会と町校長会が主催、野口英世記念会の後援で開催されたものです。

ステージでは、児童・生徒が日ごろ練習してきた合奏や合唱などを披露、練習の成果を発揮し、会場を訪れた保護者らを魅了しました。

音楽鑑賞のコーナーでは、ブラスアンサンブルの「ルスティーク」による演奏がありました。

メンバーの7人は、トランペット、ホルンやトロンボーンなどで古典から現代作品、ポピュラーまで演奏する金管楽器のスペシャリスト。日本のトッププレイヤーが奏でる力強さとなめらかさを兼ね備えた音色に、参加した児童・生徒たちは、熱心に聞き入りました。



写真上 「いつも何度でも」「ルパン三世のテーマ」で息のあった演奏を披露した猪苗代小学校
写真下 マーチングバンドとして東北大会出場も果たした長瀬小学校

High school



大会を支えるボランティア

ゼビオ猪苗代湖ハーフマラソン2011は10月30日、町内で開催され、多くの町民がボランティアとして参加しました。その中には、参加者受付の案内誘導や手荷物の返却などに携わる猪苗代高校の生徒の姿がありました。

マラソンが好きだという佐々木裕香さん(1年)は、ボランティア活動全般に興味があるという中村アイリンさん(同)と参加。「私はいつも走るほうの立場だったので、今日は運営する側として関わってみたい」と話し、笑顔で参加者を案内していました。

クラスの有志で参加した加藤美希さん、小椋亜美さん、森田未来さん(同2年)は「もともとボランティアに興味があり、地元で開催される大会の盛り上げに一役買おうと思って参加しました。ほかのボランティアの人もやさしくて、楽しくできました」と感想を述べました。



写真上 前列左から中村さん、佐々木さん、後列左から小椋さん、加藤さん、森田さん
写真下 手荷物預かり所に預けられた2000個を超える荷物の中から、参加者のものを探す森田さん

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



正之公のように頑張ります

猪苗代の偉人を考える会が発行した書籍「名君・保科正之の生涯と土津神社」の贈呈式は10月19日、町役場会議室で執り行われ、町内6小学校の児童、町内3中学校の1年生、先生や図書室など合わせて1100部が寄贈されました。

式では、同会の江花俊和会長が「正之公のことを、もっと地元の人たちに知ってもらいたい。会津藩の基礎を作った立派な人が土津神社に眠っている。それを誇りに思ってもらいたい」とあいさつ。町内の児童を代表し、千里小学校6年生の氏田泰地さんと長沼依理さんに本を手渡しました。

氏田さんと長沼さんは「私たちが先人に学び、勉強や運動を頑張りたい」とお礼の言葉を述べました。

この本の漫画やイラストは、画家でもあり、以前山瀧小学校に勤務していた馬場泰校長(現会津若松市永和小学校長)が手掛けています。



写真上 江花会長から本を受け取る児童たち。左から千里小学校の本名幸平校長、氏田さん、長沼さん、江花会長
写真下 分かりやすい言葉、写真やイラストで正之公の人生や功績を解説しています



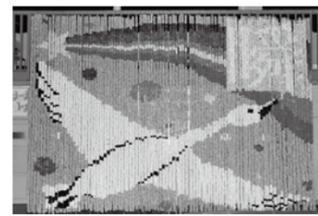
文化祭で学習の成果を披露

吾妻中学校の文化祭は10月30日、「瞬」をメインテーマに、同校の体育館で開催されました。

開会セレモニーでは、神末由華実行委員長が「生徒一人一人が、今しかないこの瞬間を未来につなげよう」と文化祭の準備をしてきた。発表や合唱などを見ていただき」とあいさつ。生徒たちが見どころなどを紹介した後、テーマ文字や12,000枚の折り紙を使ったビッグアートが披露されました。

会場には習字、絵画、ランプシェードや手作り絵本など、生徒たちの作品を分かりやすく展示。そのほか、総合的な学習の時間に制作したスライド、英語弁論や合唱などが次々と発表されると、会場の保護者らは真剣な表情で聞き入りました。

自由発表では、太鼓の演奏、少林寺拳法や保護者・職員による演奏などが披露され、会場は大きな歓声と拍手の音に包まれました。



写真上 全校合唱「HEIWAの鐘」は、野口英世博士顕彰記念町内小中学校音楽祭でも披露した曲
写真下 生徒が折った折り紙をつなげて完成させた、縦4m×横6mのビッグアート

Elementary school

Junior high school



互いに助け合い交流深める

飯館から避難の佐藤さん、三浦さん



花の出荷作業を手伝う佐藤さん(左)と三浦さん(右)

原発事故により、飯館村から避難している佐藤茂さん・美代子さん夫妻と三浦太志さん・育子さん夫妻は、東真行地区の鈴木壽典さん宅などで、農作業を手伝っています。

計画的避難区域の指定を受け、避難場所を探していた佐藤さんに、鈴木さんが協力したことから、現在の交流が始まりました。

佐藤さんと三浦さんは「同じ農家同士、こんな時だから何か力になりたいと思った。汗をかくことで自分たちのストレス解消にも役立ちます」と笑顔で話し、鈴木さんは「非常に助かっています。皆さんも大変なのに、逆に励まされる気持ちです」と話しました。

古里猪苗代に思いをはせる

東京猪苗代町民会総会・懇親会を開催



懇親会の最後には全員で会津磐梯山を踊りました

東京猪苗代町民会(瀧口幸男会長 会員 260人)の総会・懇親会は9月4日、東京都港区のホテルグランパシフィック・ル・台場で開催されました。町からは前後町長、鈴木武喜町議会議長、猪苗代民謡伝承会の皆さんなどが出席し、盛会を祝いました。

懇親会には、バンクーバー冬季パラリンピックアルペンスキー銅メダリストの鈴木猛史選手(駿河台大職員)も出席、次回パラリンピックへの抱負などを語り、会員に銅メダルを披露しました。

会場では、東日本大震災の義援金も募られ、寄せられた善意は前後町長に手渡されました。

名所・旧跡を巡り体動かす

猪苗代ノルディックウォーキング



土津神社を訪れた参加者ら

猪苗代ノルディックウォーキング大会は10月16日、カメリーナをスタート・ゴールに開かれ、町内外から約100人が参加しました。同大会は、ポールを使って歩くウォーキングを楽しみながら、猪苗代の自然や歴史に触れてもらおうと猪苗代青年会議所が企画したものです。参加者らは、バンクーバー冬季五輪クロスカントリースキー女子日本代表の夏見円選手(JR北海道)の指導で準備運動をした後、5キロと8キロの2コースに分かれて出発。

猪苗代の秋を感じながら、土津神社や磐梯神社などの名所を巡り、心地よい汗を流しました。

猪苗代湖の水環境を守ろう

雨の中、湖北岸の清掃作業を実施



サイクリングロード周辺でゴミを拾う参加者ら

コスモアースコンシャスアクト クリーンキャンペーン in 猪苗代は10月15日、町内堅田の猪苗代湖北岸で開催され、約300人が湖岸に捨てられたごみなどを拾い集めました。

コスモ石油とふくしまFMなどの全国38局が、全国各地でライブやスポーツイベントなどを実施しながら、楽しく清掃活動を実施する「クリーン・キャンペーン」。今回の活動も、同キャンペーンの一環として、毎年県内各地で実施されているものです。

当日は小雨が降る中での作業となりましたが、参加者らは熱心にごみを拾い集め、環境保全への誓いを新たにしました。

認知症について正しく理解

認知症講演会で関わり方など学ぶ



認知症について講演する千葉さん

町保健福祉課と町地域包括支援センターが主催する、認知症講演会は10月20日、学びいなかで開かれました。

『ぼけ』でも心は生きている ～具体的な相談や対応法について～をテーマに、ひもろぎグループ統括部長の千葉喜弘氏が講演。認知症の進行のしかた、予防法や周りで支える人たちの関わり方などについて、事例を挙げながら説明した後、みちのくボンガーズが認知症をテーマにしたコントを披露しました。

会場を訪れた参加者ら約240人は、熱心に聞き入り、認知症についての理解を深めました。

万一の磐梯山噴火に備えて

磐梯山火山防災連絡会が訓練実施



テレビ電話で両首長と対策を協議する前後町長

本町、磐梯町、北塩原村の3町村で構成する磐梯山火山防災連絡会は10月17日、情報受伝達訓練を実施しました。

訓練は、磐梯山で火山性微動を2度観測、噴火警報が発表されたとの仮定で実施。福島地方気象台からの連絡を受けた担当者らが、各町村長に報告した後、前後町長、五十嵐源一磐梯町長、小椋敏一北塩原村長の3人が、テレビ電話を使って現状報告や対策を協議しました。

訓練を終えた3町村では、それぞれが連携し、火山防災体制を確立することの重要性を再確認しました。



子どもたちが収穫喜び笑顔

曲淵大根クラブ会指導で農業体験



地元の人と一緒に、普通のきねにも挑戦しました

福島市立鳥川小学校の5年生56人は10月21日、本町の曲淵地区を訪れ、農業体験に取り組みました。この学習は、県のふくしまっ子体験活動応援事業を活用し、総合学習の一環として実施されたものです。児童たちは「曲淵大根クラブ会」会員の指導を受けながら、大根の収穫や千本きねを使ったもちつきなどに挑戦。ついたもちをあんこもち、きな粉もちや汁もちなどで食べると「おいしい」と声を上げ、大喜びの様子でした。

引率した上石和子学年主任は「実際に土や野菜に触れ、農家の人が心を込めて作っていることが分かったと思う」と話しました。

復興を願って猪苗代を疾走

本町で初のハーフマラソンを開催



写真上 前日からの仕込みに始まり、当日は3,000食分の豚汁を振る舞った町生活改善推進委員会。星久子会長(右)は「参加者に猪苗代のおいしい野菜を食べしてほしい」と話し、笑顔で豚汁を振る舞いました
写真下 親子部門で優勝した篠原貴宏さん・悠さん(中央・楡葉町出身)は避難先の千葉県香取市から出場。「練習通りの力がでてよかった」と優勝を喜びました。町内から出場した渡部誠さん・峻太さん(左端・四ツ谷)は、家族の声援を受け、見事4位入賞を果たしました



ゴールを目指し、カメリーナをスタートしたハーフマラソンの参加者ら

ゼビオ猪苗代湖ハーフマラソン2011は10月30日、秋の深まりを見せる猪苗代湖周辺で開催されました。レースは、町総合体育館カメリーナをスタート、町サイクルセンターをゴールとするハーフマラソンを中心とした計13部門で争われ、ランナーたちが健脚を競いました。

男女ハーフマラソン完走者のうち、30人が東京マラソン2012の出場権を得られるとあって、同クラスには約2400人が出場。完走を目指し、秋の猪苗代路を駆け抜けました。メイン会場となったカメリーナには、多くの町民や学生がボランティアとして参加、大会の円滑な運営に一役買いました。本町産の野菜を使った豚汁や手打ちそばなどが振る舞われ、ランナーや応援の家族などから好評を得ました。

今後もますますのご活躍を

学びいなか高齢者福祉大会を開催



金婚夫婦表彰を受けた高橋忠さん・千恵さん夫妻

第42回町高齢者福祉大会は10月26日、学びいなかで開催され、町内の老人クラブ会員ら約400人が出席しました。

町老人クラブ連合会の戸田忠義会長が「希望と生きがいを持って健康に暮らし、社会参加できるように頑張ろう」とあいさつ。役員表彰、会員加入増強老人クラブ顕彰伝達の後、しあわせ金婚夫婦が表彰され、32組を代表して高橋忠さん、千恵さん夫婦(川桁長寿クラブ)に表彰状が手渡されました。式典後は、各地区の老人クラブ会員らがアトラクションを披露し、来場者を楽しませました。

男子は学石、女子は田村V

町内で県高校駅伝競走大会を開催



田村の優勝に貢献した鈴木美姫選手(右)

全国高校駅伝競走大会出場を懸けた男子第56回、女子第29回県高校駅伝競走大会は10月28日、カメリーナをスタート、ゴールに開かれ、男子は学法石川高校が18年ぶり3度目、女子は田村高校が4年連続17度目の優勝を飾りました。

レースは男子7区間42.195分、女子5区間21.0975分で争われ、町内からも数人の選手が出場。女子の3区では鈴木美姫選手(田村高2年・東中出身)が快走を見せ、田村の優勝に貢献しました。地元猪苗代高校の出場こそありませんでしたが、沿道に詰めかけた町民からは、すべての選手に声援が送られました。

復興への願いを込め大空へ

町営牧場でいなわしろ凧揚げ大会



量4畳分ほどの大だこが空高く揚がりました

いなわしろ凧揚げ大会は10月23日、町営牧場で開かれ、参加者らが自慢のたこを空高く揚げました。

同大会は、原発事故による風評被害の払しょくを願い、安心・安全な猪苗代を全国に向けて発信するため、実行委員会が主催、町風評被害対策委員会の共催で、初めて開催されたものです。

日本の凧の会の協力で、1都6県から手作りの愛好者ら約50人が参加。秋の大空に、大だこや連だこなどを揚げました。

会場では、親子のたこ作り体験などが実施されたほか、いも煮やコーヒーなども振る舞われ、参加者を喜ばせました。

健康のため「暮らしに運動」を

運動を生活に取り入れてみませんか

皆さんは、日頃から運動をしていますか。

「運動はつらい」「好きになれない」「時間が無い」「運動を始めても続かない」など、いろいろな理由で運動不足気味の人も多いのではないのでしょうか。

運動には、肥満・骨粗しょう症・認知症・脂質異常症などの予防、糖尿病の予防と改善、便秘予防・消化機能の向上、ストレス解消、美容効果、心肺機能の向上、血圧の安定など、さまざまな効果があります。

運動は、健康を維持するために欠かせないものです。無理をせず、できることから始めてみましょう。

▼まずは、日常生活を見直してみよう。

○消費エネルギーを増やす
「こまめに動く」ことが消費エネルギーを増やすポイントです。時間が無い人や体力に自信がなくて運動を敬遠しがちな人も、日常生活の活動量を増やし、健康を維持しましょう。



胸を張り、歩幅を広く、腕は後ろに大きく振ることを意識して。リズムよく、楽しくウォーキングしましょう

例えば：

- ・バスを自転車に変える
- ・自転車を徒歩に変える
- ・より大きな歩幅で歩く
- ・階段を使う
- ・家事の手を抜かない
- ・買い物は徒歩で行く
- ・何かをしながら、筋力を強化する。など

▼運動する習慣がない人は、少しずつ始めてみましょう。

○運動を始めるヒント

- ・楽しくできる運動を選ぶ
- ・誰かと一緒に運動をする
- ・ウェアやシューズなどで、気に入ったものを使い、形

から入るのも手です

- ・週末の散歩や自転車を習慣にする

▼安全に運動をするためには

これまで運動をする習慣がなかった人が、いきなり運動を始める、思ってもいないような事故や体の故障が起こる可能性があります。血圧や心臓に注意が必要です。血圧や心臓に痛みがある人などは、特に注意が必要です。

運動を始める前には、必ず医師に相談しましょう。慣れてきたら少しずつ強度を強くしたり、量を増やしたりするといでしょう。



本年度の健康運動教室の様子

▼日時
11月30日(水)、12月14日(水)
午後7時～9時

▼場所
カメリーナ(サブアリーナ)

▼参加料 無料

▼問い合わせ先
町民生活課 国保年金業務
☎(62)2114

カメリーナススポーツクラブ事務局
☎(72)1534



パパ、ママと友彩ちゃん、みんな一緒に笑顔でチーズ

名前の「友」には、「友だちを思いやれる、人にやさしい子に育ててほしい」というパパとママの願いが込められています。

青木 友彩 ちゃん

平成22年12月生まれ
～木地小屋
亮さん・友貴さん夫婦の長女

最近、ハイハイを覚えて友彩ちゃん。自分で好きな場所に移動できるようになりました。

「日中は、家の中をぐるぐる移動しているか、大好きなアンパンマンの人形で遊んでいます」と笑顔で話すのは、ママの友貴さん。

お風呂や離乳食なども積極的の手伝う、パパ亮さんですが「友彩は俺よりじいちゃんの方が好きかも」と笑います。

おじいちゃんが帰ってくると、手を上げて喜ぶ友彩ちゃん。おじいちゃんやママは、そんな友彩ちゃんがかわいくて仕方がないそうです。

「もう少し大きくなったら水族館や動物園に連れて行きたい。いろいろな生き物を見せてあげたいですね」と、パパとママは笑顔で話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

サークル紹介

Circle introduction

小学4年生から中学3年生までの児童・生徒が、個人の技術力向上を目指して練習に取り組む「猪苗代少年サッカー練習会」。

指導に当たるのは、福島県を拠点に活動するプロチーム、福島ユナイテッドFCの現役選手です。

「カメリーナのスクールは小学校低学年まで。楽しくサッカーをすることが一番ですが、こちらは技術向上のための練習に取り組まします」と話すのは柳原裕選手。

事務局の小板橋敏弘さんは「吸収力の高い子どもたちに、しっかりと技術を磨いてほしい」と話します。

同会ではサッカーに興味のある、技術を磨きたい児童・生徒を募集しています。入会、見学希望者は事務局まで。小板橋敏弘(見称)
☎090(3758)8463

※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。希望する団体は広報担当まで問い合わせてください。☎(62)2111

猪苗代少年サッカー練習会 (事務局 小板橋敏弘)



(写真左)個人の技術力を磨く練習に取り組んでいますと話す柳原裕コーチ(右)と金巧青コーチ(左)
(写真右)パスの練習に取り組む生徒たち

一手、二手先を考えてパスを出す、守備をする練習に取り組む



生涯学習課からのお知らせ

■第41回町民卓球大会を開催します

第41回を迎えた町民卓球大会を今年も開催します。子どもからお年寄りまで楽しめる、多彩な競技種目を用意していますので、家族そろって参加できます。みなさんの参加をお待ちしています。

●日時：12月11日(日) 開会式8時30分

●場所：カメリーナ

●参加資格：猪苗代町民、町内への通勤・通学者、カメリーナスポーツクラブ会員、東日本大震災で町内に避難している人

●競技種目：①小学4年生以下男・女シングルス ②小学6年生以下男・女シングルス ③中学生男・女シングルス ④中学生男・女団体戦(1チーム3人の団体戦) ⑤一般男・女シングルス ⑥子供とあそぼう(当日参加者でペア抽選) ⑦ふれあいダブルス(当日参加者でペア抽選) ⑧ラージボール(60歳以上男女不問、初心者大歓迎!)

●参加料：19歳以上1,000円。ラージボール、高校生以下500円。

●申し込み先：住所・氏名・年齢(①～④へのお申し込みは学年も明記)・性別・連絡先を記入の上、郵送かFAXで下記に申し込んでください。

〒969-3286 猪苗代町大字磐根字大神 1652-54
猪苗代町卓球協会 猪俣 裕一 FAX 65-2367

●締め切り：11月27日(日) 到着分まで

●問い合わせ先：町卓球協会 猪俣 裕一 ☎(65)2367

●主催：猪苗代町卓球協会、共催：猪苗代町体育協会

■ニュースポーツフェスティバル

ニュースポーツフェスティバル2011は10月16日(日)、カメリーナで開催されました。

コート上に描いたサークルから、目標球に向かって金属製のボールを投げ合い、相手より近づけることで得点を競うペタンク。氷上で行うカーリングを改良して、季節や天候に左右されない体育館など普通の床上でも行えるようにしたフロアカーリングなど、さまざまなスポーツに、74人が参加しました。より多くの人に新しいスポーツの魅力を感じていただきたいと思っています。来年も開催予定ですので、皆さんの参加をお待ちしています。



■スポーツ少年団総合体育大会結果

第24回猪苗代町スポーツ少年団総合体育大会は10月8、9の両日、カメリーナと運動公園で開催され、それぞれの種目で熱戦が展開されました。

【団体競技の優勝チーム】

◎サッカー/千里A ◎ソフトボール/長瀬 ◎ミニバスケットボール男子/猪苗代 ◎ミニバスケットボール女子/吾妻

このほか、バドミントン、卓球や柔道などの競技が行われ、各種目で熱戦が繰り広げられました。

ふくしま駅伝 町選手団に熱い声援を

第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)は11月20日(日)、白河市の総合運動公園陸上競技場をスタート、福島市の県庁前をゴールとする16区間、全長96.5kmで開催されます。

大会に挑む町選手団の結団式は10月22日(土)、学びいなで挙行され、選手、監督、コーチや来賓など約30人が出席しました。

前後公町長のあいさつ、鈴木武喜議長の祝辞の後、五十嵐幸夫監督が「中学男子は過去最高のレベル。高校女子では、県内トップクラスの実力を持つ鈴木美姫(田村高2年)でスタートダッシュをかけ、みんなで見つけていきたい。全力で頑張るので、今まで以上のご協力、ご支援とご声援をお願いします」とあいさつ。五十嵐史朗主将が「私たちの走る魂で町民、県民に夢と勇気を与えられるように頑張ります」と力強く宣誓しました。

昨年は、町の部2位という好成績を収めた本町チー



チーム一丸となつての健闘を誓い合った選手たち

ム。今年は町の部優勝を目標に、厳しい練習を重ねています。今年のチームキャッチフレーズは「走魂」。走りに魂を込め、古里「猪苗代」の誇りをかけて走る選手たちに、皆さんの温かい声援をお願いします。

図書室から新刊図書のお知らせ

学びいな内の図書室から、新刊図書のお知らせです。図書スペースは以前よりも小さくなりましたが、新刊図書は増えました。インターネットを利用した図書検索や予約受付など、図書機能は今までも充実しています。皆様のご利用をお待ちしています。

主な新刊図書は次のとおりです。

【小説】

ジェノサイド上下/高野和明 たまゆら/あさのあつこ 中原の虹1～4巻/浅田次郎 偉大なるしゅららぼん/万城目学 天上紅蓮/渡辺淳一 やなりいなり/島中恵 黄泉から来た女/内田康夫 ブラック/山田悠介 保科正之伝生記/五十嵐帆 ポリティコン/桐野夏生 獣の奏者外伝刹那/上橋菜穂子 よろずのことに気をつけよ/川瀬七緒 完盗オンサイト/玖村まゆみ 真夏の方程式/東野圭吾 七人の鬼ごっこ/三津田信三 キケン/有川浩 麒麟の翼/東野圭吾 ばんば憑き/宮部みゆき 漂砂のうたう/木村昇 禁猟区/乃南アサ 下町ロケット/池井戸潤 謙信の軍配者/富樫倫太郎 ストーリー・セラー/有川浩



【歴史・エッセイ・ドキュメンタリー他】

まさかジープで来るとは/せきしろ・又吉尚樹 大人の流儀/伊集院静 困っている人/大野更紗 本当に彼らが日本を滅ぼす/佐々淳行 すーちゃん/益田ミリ 100歳までボケない101の方法/白澤卓二 子供を放射能汚染から守りぬく方法/武田邦彦 日本中枢の崩壊/古賀茂明 日本はなぜ世界で一番人気があるのか/竹田恒泰 蒲生氏郷物語/横山高治 東北は負けぬ/星亮一 なでしこ力/佐々木則夫 知事抹

殺/佐藤栄佐久 一筆メッセージで仕事はうまくいく/フローレンスアイカワ 人生がときめく片付けの魔法/近藤麻里恵 川越達也の3ステップで10分パスタ/川越達也 心を整える/長谷部誠 日本男児/長友佑都 ほまれ/澤穂希 田部井淳子の楽しい! 山登り入門/田部井淳子



【文庫】

僕たちは世界を変えることができない/葉田甲太 紅花の郷(居眠り磐根シリーズ)/佐伯泰英 石榴の名蝶(居眠り磐根シリーズ)/佐伯泰英

【児童書】

もつとくらべ図鑑NEOぷらす 宇宙の迷路/香川元太郎 ズッコケ中年三人組/那須正幹 かいけつゾロリのきょうふのようかいえんそく/はらゆたか 都市伝説クイズ/小林あき "好き"をつらぬこう/BLACK 若おかみは小学生No.3～No.9/令丈ヒロ子 黒魔女さんが通るNo.3～No.9/石崎洋司 新・学校の怪談No.1～No.4/常光徹 まんが人物館一クレオパトラーチャレンジミッケ3、7巻/ウォルター・ウィック ウォーリーをさがせ!なぞのメモ大追跡/マーティン・ハンドフォード

■学びいなと図書室の休館日

11月から年始までの学びいなと図書室の休館日は次のとおりです。

11月28日(月)、12月4日(日)、12月26日(月)、12月28日(水)から24年1月4日(水)まで

教育委員会コラム

第十九回

かつて米国大統領だったケネディやトルーマンが、最も尊敬していた日本人は、米沢藩主、上杉治憲(鷹山)であったと言われている。三代藩主綱勝が後継を決めずに急死し、藩が取り潰しになるところを、当時幕閣にあった保科正之が奔走。末期養子(急養子とも言う)で、武家が主人の没時に養子を願う出る制度)を認めさせ、石高三十万石を十五万石に半減した上で存続が認められた。その後は藩経営がうまくいかず、凶作が続いたこともあり、表向き十五万石の石高は十萬石にも満たないほどだった。借金は二十万両(今の金で約二百億円)にも膨れ上がり、田畑は荒れ果て、悲惨なありさまとなっていた。八代藩主重定は、領地を返上し、領民救済を公儀に委ねようとまで思いつめた。しかし、藩主を補佐すべき家臣団は、上杉謙信公以来の名門意識やプライドだけで無為無策を重ねていた。そこで後を継いだのが、日向(宮崎県)高鍋藩主、秋月種美の次男、治憲であった。治憲は猛反対を押し切り、役立たずの重役らの首切りを断行した。有能な人材の発掘、登用に努め、同時に藩校(米沢興譲館)を創設するなど人材育成を図り、見事に崩壊寸前の藩を立て直し、江戸期屈指の名君と言われた。米沢藩改易(取り潰し)の危機を救ったのが、会津藩主保科正之公であったのも何かの縁を感じるところである。(土屋)

相談

行政相談委員に相談してみませんか

行政相談委員の定例相談を実施します。定例相談は毎月1回第3水曜日に開催しています。

▼猪苗代町行政相談委員
宮沢 重正さん(下館)

☎(66) 3995

▼開催日時 11月16日(水)、

12月21日(水)

午後1時～午後3時

▼開催場所 町役場3階日本間

▼その他 相談無料・秘密厳守

▼問い合わせ先

総務課 秘書広報業務

☎(62) 2111

新しい人権擁護委員に
六角京子さん



新しく人権擁護委員に就任した六角京子さん

法務省では、本町を担当する人権擁護委員を、23年10月1日付けで六角京子さん(金曲)に

11月から、町内の医療機関でインフルエンザの予防接種が始まりました。インフルエンザワクチンを接種することで、重篤な合併症や死亡を予防し、健康被害を最小限にとどめることが期待できます。

インフルエンザ予防接種について

◆町インフルエンザ予防接種の概要

対象者	町内に住民登録している人
実施期間	24年1月31日まで
接種回数	13歳未満の人…2回 ※1歳未満の子どもについては、予防接種で免疫をつけることが難しいため、インフルエンザワクチン接種は推奨されませんが、有益性とリスクを十分に考慮した上で接種を受けることは差し支えありません
	13歳以上の人…1回 ※医師の判断で2回接種になることがあります
接種に必要なもの	①住所・氏名・年齢を確認できるもの(免許証、健康保険証や母子保険手帳など) ②自己負担金 ③インフルエンザワクチン助成事業対象者証明書(生活保護者)

◆接種費用と自己負担額

接種者の区分	1回目			2回目		
	接種料金	町助成	自己負担額	接種料金	町助成	自己負担額
1歳未満	病院単価による	なし	病院単価による	病院単価による	なし	病院単価による
1歳以上小学6年生まで		2,000円	病院単価と町助成の差額		2,000円	病院単価と町助成の差額
中学生						
妊婦		なし	病院単価による		1歳～13歳未満(1回目接種時)の場合 2回目接種も全額助成	
高校生以上65歳未満		なし	病院単価による			
生活保護者(1歳～中学生以下の子ども・妊婦)		全額	0円			
○65歳以上 ○60歳以上65歳未満の心臓・腎臓・呼吸機能障害またはヒト免疫不全症による身体障害者1級の人	4,000円	2,000円	2,000円			
生活保護者	4,000円	4,000円	0円			
施設入居者	2,000円	1,000円	1,000円			
生活保護者で施設入居者	2,000円	2,000円	0円			

◆町内の接種場所

医療機関名	電話番号
浅見クリニック	63-2200
小川医院	62-2132
かねこ内科外科クリニック	72-0660
町立猪苗代病院(中学生以上)	62-2350
野崎医院	66-2245
マリアクリニック	66-2700
矢吹医院	62-2169
六角外科泌尿器科医院	62-2640
老人保健施設など	電話番号
いなわしろホーム	66-4123
ケアテル猪苗代	66-3500
咲楽の里	72-0557

※町内老人保健施設で接種する場合は、施設入居者に限りです。
※町外の医療機関・施設で接種を受ける場合は、福島県広域予防接種を実施している医療機関・施設であれば、実費で接種ができます。県外での接種などについては、保健福祉課に問い合わせてください。

◆償還払いについて

上記の負担軽減者に該当する人で、接種料金を実費で支払った人は、接種料金の全額または一部が戻ります。下記の書類を持参の上、町役場保健福祉課窓口で手続きをしてください。

○持参書類 領収書・接種済証・銀行またはJAの通帳・印鑑(生活保護者は「インフルエンザワクチン接種助成事業対象者証明書」が必要になります)

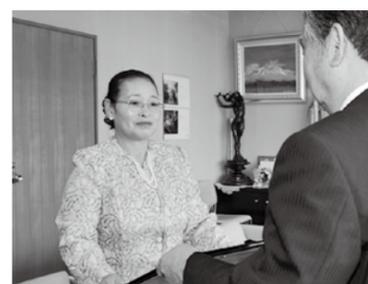
◆接種にあたっての注意事項

①ワクチンを準備する都合上、事前に医療機関などに電話確認をしてください。
②当日の体調や持病などにより、予防接種を受けられない場合があります。医師の判断に従ってください。

●インフルエンザ予防接種についての問い合わせは
保健福祉課 健康づくり業務 ☎(62) 2115

委任しました。人権擁護委員は、憲法で保障されている地域住民の基本的な人権の擁護と、人権尊重思想の普及高揚を目的として活動しています。

人権擁護委員として6年間の長きにわたり活躍し、このたび退任された渡部サタさんに10月17日、町感謝状が贈られました。渡部さんは、17年から人権に関わる相談業務や啓発活動に取り組む、人権思想の普及高揚のために尽力されました。



前後町長から感謝状を受け取る渡部サタさん(松橋)

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会では「人権デー」の12月10日を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、この期間を中心に各地で特設人権相談所を開設します。

本町でも、人権擁護委員と行政相談委員の合同相談会を開催

募集

道の駅猪苗代選考委員を公募します

町では、道の駅の整備について検討する(仮称)道の駅猪苗代整備検討委員会」の委員を募集します。

▼委員会の名称 (仮称)道の駅猪苗代整備検討委員会

▼主な審議内容 「道の駅」整備について検討する

▼応募資格

町内在住の20歳以上の人

▼募集人員 3人

▼任期 委嘱の日から所掌事項の検討が終了するまで

▼応募方法 応募申込書に必要な事項を記入し、総務課に提出してください。

▼応募期限

11月30日(水)まで
▼問い合わせ先
総務課 プロジェクトチーム
☎(62) 2111

認知症サポーターの養成講座を開催

認知症になっても、安心して暮らせる猪苗代町を目指して、認知症サポーター養成講座を開催します。

「認知症サポーター」とは、何か特別なことをする人ではありません。認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を地域で温かく見守り支援する「応援者」です。

地域の人のために、自分の大切な人のために、認知症について一緒に考えてみませんか。

▼開催日時 11月24日(木)

午前10時～11時30分

▼開催場所 学びいな

研修室A・B

▼内容 認知症を理解する(認知症とはどんな病気か、認知症の人と接するときの心構え、私たちが地域でできることは…など)

▼参加費 無料

▼定員 30人

▼参加申し込み・問い合わせ先
保健福祉課 高齢者福祉業務

☎(62) 2115

募集

配食サービスの利用希望者を募集中

町シルバー人材センターでは、調理をすることが困難な高齢者世帯などに、定期的に食事の提供をする配食サービス事業を実施しています。



配達員が、お弁当と一緒に安心をお届けします

週1回か2回、昼食時にお弁当を宅配するとともに、安否確認などをして健康の保持を図ります。現在は約20人にサービスの提供をしています。簡単な手続きで利用できますので、希望する人はシルバー人材センターに申し込んでください。
▼対象世帯
町内在住で、老衰、心身の障害、傷病などにより調理をすることが困難な世帯。

- ① おおむね60歳以上の世帯
- ② 心身障害者世帯
- ③ 難病患者世帯

▼提供回数など

- ・提供日
水曜日と金曜日の2日
- ・提供回数
1日につき、1人1食分とし、昼食時に宅配する手数料
- ・1食あたり400円
- ・利用の申請
利用申請書を提出してください。申請書は、次の機関などを経由して提出することができます。

- ・猪苗代町社会福祉協議会
- ・指定居宅介護支援事業所
- ・民生委員

※この事業はシルバー人材センターが国や町から補助金を受けて実施しているものです。

▼問い合わせ先
町シルバー人材センター事務局
☎(62) 52003

男性だって楽しく料理 男の料理教室

町食生活改善推進員会では、本年度も「男の料理教室」を開催します。内容は、バランスが良く、おいしい簡単メニューの調理実習と、健康運動指導士による運動教室です。

▼開催日時 12月4日(日)
午前9時30分～午後2時

開催場所

町農村環境改善センター
2階 調理室・和室など
▼持ち物 エプロン・三角巾・手ふきタオル・筆記用具
運動をするので、動きやすい服装で参加してください

▼対象者 町内に住む男性
先着16人

▼参加費 500円(材料費)

※当日お支払いください

▼申し込み・問い合わせ先
保健福祉課 健康づくり業務
☎(62) 2115

掲示板

告示

- ・第102号「公売通知書の公示送達について」
- ・第103号「配当計算書の公示送達について」
- ・第104号「参加差押書の公示送達について」
- ・第105号「平成23年度固定資産税督促状の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第106号「延滞金督促状の公示送達について」
- ・第107号「充当通知書の公示送達について」
- ・第108号「平成23年第6回定例町議会招集」
- ・第109号「債権差押書の公示送達について」
- ・第110号「債権差押書の公示送達について」
- ・第111号「差押書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第112号「差押解除通知書の公示送達について」
- ・第113号「猪苗代町個人線量計配布事業実施要綱」(保健福祉課健康づくり業務)
- ・第114号「差押解除通知書の公示送達について」
- ・第115号「平成23年度固定資産税督促状の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第116号「平成23年度国民健康保険税督促状の公示送達について」
- ・第117号「国民健康保険被保険者証無効告示」
- ・第118号「差押書の公示送達について」

- 達について」(税務課収納業務)
- ・第119号「過誤納金充当通知書の公示送達について」
- ・第120号「延滞金督促状の公示送達について」
- ・第121号「充当通知書の公示送達について」
- ・第122号「差押書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第123号「不動産等の最高価申込者決定通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第124号「差押書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第125号「猪苗代町索道事業施設に係る指定管理者の指定取消について」

- ・第126号「配当計算書の公示送達について」
- ・第127号「平成23年第7回臨時議会招集」
- ・第128号「差押書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第129号「猪苗代町索道事業施設に係る指定管理者の指定取消について」
- ・第130号「公売通知書の公示送達について」
- ・第131号「繰上徴収通知書の公示送達について」(税務課収納業務)
- ・第132号「差押書の公示送達について」

11月は、Sマーク標準営業約款の普及登録促進月間です

理・美容店、クリーニング店、めん類飲食店、一般飲食店のお店選びはSマーク登録店で

Sマークは、厚生労働大臣認可の標準約款制度に従って営業しているお店です。このSマークを店頭に表示しているお店なら安全、清潔、安心が保証され、皆さんの信頼できるお店選びの大きな目安となります。また、万一の場合、事故賠償基準に基づいた補償も受けられます。



○問い合わせ先
(財)福島県生活衛生営業指導センター
☎ 024(525)4085

公告

- ・第33号「インターネット公売による不動産の最高価申込者決定について(第3号)」
- ・第34号「インターネット公売の公告について(第4号)」
- ・第35号「抑留犬公告」
- ・第36号「農用地利用集積計画について」
- ・第37号「猪苗代町農業振興地域整備計画の変更」
- ・第38号「インターネット公売による不動産の最高価申込者決定について(第4号)」
- ・第39号「インターネット公売の公告について(第5号)」
- ・第40号「農用地利用集積計画について」
- ・第41号「平成23年度下半期の猪苗代町公共事業発注予定について」
- ・第42号「インターネット公売による不動産の最高価申込者決定について(第5号)」
- ・第43号「農用地利用集積計画について」
- ・第44号「農地委員会農地業務」

※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧ください。それぞれ担当課に問い合わせください。

震災関係

仕事中や通勤中の被災には、労災から給付が

東日本大震災により、労働者が仕事中または通勤中に、地震や津波によって負傷または死亡した場合、労災保険の給付を受けられます。本人や家族で手続きをしていない人は、労働基準監督署などで手続きをしてください。詳しくは、下記に問い合わせてください。

☎ 会津労働基準監督署

☎ (26) 6494

福島労働局労働基準部労災補償課

☎ 024 (536) 4605

県弁護士会が被災者の支援活動を実施中です

県弁護士会では、東日本大震災や原発事故の被災者のため、無料相談などの支援活動に取り組んでいます。

1. 震災・原発事故無料電話相談

(相談は無料ですが、通話料はかかります)

●対象 今回の震災や原発事故で被災した人

●受付時間 平日の午後2時～午後4時

●電話番号 ☎ 024 (534) 1211

☎ 024 (925) 6511 ☎ (27) 2522

☎ 0246 (25) 0455

2. 震災・原発事故無料面談相談

(予約制)

●対象 今回の震災や原発事故で被災した人

●実施場所 福島、二本松、郡山、白河、会津若松、いわき、相馬

●予約方法 平日の午前10時～午後4時の間に、0120(700)791 (フリーダイヤル) に電話してください。相談場所、日時などは予約の際に問い合わせてください。

3. 原子力発電所事故被害者救済支援センター

●対象 原発事故で被災した人

●支援内容 原発事故の被害者救済を支援するため、弁護士を紹介します。センターが紹介した担当弁護士に、皆さんから連絡していただき、予約の上、担当弁護士の事務所で相談あるいは依頼をしてください(相談は3回まで無料です)。

●受付窓口 平日の午前10時～午後3時の間に、024 (533) 7770 まで電話してください。

4. インターネットや携帯電話での情報提供

●ホームページアドレス

http://business3.plala.or.jp/fba/

●携帯ホームページアドレス

http://business3.plala.or.jp/fba/k/

震災でお困りの人に裁判手続きの方法を案内

県内の裁判所では、裁判手続きを考えている人のため、無料で案内をしています。

○震災で亡くなったり、行方不明になったりした人の財産に関すること

○震災で親が亡くなったり、行方不明になったりした子どもの後見(財産の管理)などに関すること

○判断能力がなくなってしまった人の後見に関すること

○手形や小切手などの有価証券の紛失に関すること

○借りたお金が返せない

このようなことについて相談を受け、解決するための裁判手続きの概要や申立方法(手続きに必要な費用や書類など)を説明します。

詳しくは、お近くの裁判所に連絡してください。

☎ 会津若松簡易裁判所

☎ (26) 5738

福島家庭裁判所 会津若松支部

☎ (26) 5831

郡山簡易裁判所

☎ 024 (932) 5697

福島家庭裁判所 郡山支部

☎ 024 (932) 5855

政府広報

震災や原発事故に関連した悪質商法に注意を

震災や原発事故に乗じた、悪質商法に注意してください。

○復興事業への投資をかたった社債や未公開株式の販売

○放射性物質の除去効果をうたう浄水器の販売

○行政からの全額補助をかたった太陽光発電システムの高額取り付け

○被災した屋根の修理や住宅設備の点検と称して、高額な修理点検代を請求する

○当面の生活費を借りるために、返済保証金を入金したが貸し出しが行われない

○ボランティアや宗教勧誘を名目に悪質商法をする

など、さまざまな手口があります。「怪しい」と思ったら、すぐに契約をせず、下記に相談してください。

☎ 猪苗代警察署 ☎ (63) 0110

●警察総合相談電話 # 9110

※携帯電話でも利用できます

●消費者ホットライン

☎ 0570 (064) 370

※ IP 電話や PHS からは利用できません

保証協会が中小企業の資金繰りを支援します

被災した事業者の借入額を全額保証する制度を、来年の3月まで実施します。

○震災によって直接または間接的に被害を受けた中小企業者が、金融機関から事業の再建や経営の安定に必要な資金を借り入れるとき、信用保証協会が債務保証をします。

○災害関係保証、セーフティネット保証と合わせて最大5億6千万円まで(そのうち1億6千万円までは無担保)、一般保証とは別枠で利用で

きます。詳しくは、信用保証協会に問い合わせてください。

☎ 福島県信用保証協会

☎ 024 (526) 1530

催し

生誕100年を記念して「鈴木高木彫展」を開催

生前、本町で教員として過ごし、温もりにあふれた木彫りの彫刻を制作していた鈴木高さん。生誕100年を迎えた今年、本町で個展を開催します。皆さんお誘い合わせの上、ぜひお出かけください。

●開催日時 11月16、17(水、木)の両日 午前9時～午後5時

●開催場所 学びいな

☎ 学びいな ☎ (72) 0180

女性の人権を守ります 一人で悩まずに相談を

11月14日から20日までの7日間は、全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間です。

夫やパートナーからの暴力、セクシャルハラスメントやストーカー行為など、女性の抱える人権問題について、電話相談を実施します。

相談は無料で、秘密は厳守されますので、気軽に相談してください。※強化週間以外の日(土・日・祝日を除く)でも、午前8時30分～午後5時15分の間は相談に応じています。

●開催期間 11月14日(月)～20日(日)までの7日間

●開催時間

午前8時30分～午後7時まで

(ただし、19、20の両日(土・日)は、午前10時～午後5時)

●電話番号 ☎ 0570 (070) 810

(全国共通ナビダイヤル)

☎ 福島地方方法務局人権擁護課

☎ 024 (534) 1994

家屋の異動があった場合は届け出を

家屋の固定資産税は、毎年1月1日現在、家屋を所有している人に課税されます。家屋の新築、増築、取り壊し、所有者変更などの異動があった場合は、届け出をしてください。

東日本大震災で著しい損害を受けた家屋のうち、取り壊しやそれに代わる家屋を新築、あるいは修理に伴う増築をした場合も必ず届け出をしてください。

※被災家屋の取り壊し、新築増築については、固定資産税の特例措置が適用される場合があります。

●家屋を取り壊した場合

取り壊した年は課税されますが、届け出をした翌年からは課税されません。

○登記が遅れる場合または未登記家屋の場合

取り壊した家屋の床面積の大小にかかわらず、税務課に「家屋異動申告書」を提出してください。後ほど、職員が現地を確認します。

○登記されている家屋の場合

該当する家屋の所在地を管轄する法務局で建物滅失登記をする必要があります。登記が完了すると、法務局から町へ通知が届きますので、町への届け出は必要ありません。

●家屋を新築、増築した場合

家屋が完成した年の翌年から課税されます。職員が評価額算出のための調査に伺います。調査の内容は、家の間取りや最終的な各部屋の仕上げなどの確認になります。調査の時間は、およそ1時間30分程度です(床面積の大小により変わります)。

基本的に職員が文書や電話などにより日程を調整しますが、連絡をいただければ随時調査に伺います。

●家屋の所有者が変わった場合

届け出により、取得した年の翌年から課税されます。

○登記が遅れる場合または未登記家屋の場合

相続や売買などで所有者が変わった場合は、税務課に「家屋異動申告書」を提出してください。新たな所有者を確認した上で、翌年から課税します。

○登記されている家屋の場合

法務局で所有権移転登記をすると、法務局から町へ通知が届きますので、町への届け出は必要ありません。

※これらの異動について届け出がない場合、事実の把握が困難になります。必ず届け出をしてください。

また、家屋の新増築や取り壊しは、住宅用地に対する課税標準の特例に関係することがあります。

※住宅用地に対する課税標準の特例

住宅の敷地に使用されている一画地を住宅用地といます。住宅用地については、その税負担を軽減する必要から、その面積の広さによって小規模住宅用地と一般住宅用地に分けて特例措置が適用されます。特例額は次のとおりです。

○小規模住宅用地 住宅の敷地で住宅1戸について200平方メートル以下の土地。課税標準額は、土地の決定価格の6分の1。

○一般住宅用地 住宅の敷地で住宅1戸について200平方メートルを超える部分で、住宅の総床面積の10倍までの土地。課税標準額は、土地の決定価格の3分の1。※10倍を超える部分の土地については、住宅用地の適用はありません。

固定資産税の適正な課税のため、毎年4月に送付する課税資産(土地・家屋)明細書を確認し、必ず届け出をしてください。

登記については、法務局、司法書士や土地家屋調査士に相談してください。

●問い合わせ先 福島地方方法務局若松支局 ☎ (27) 1501

税務課 賦課業務 ☎ (62) 2113

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況(平成23年9月30日現在)

1 犯罪発生状況

町村別	年別	平成23年	平成22年	増減	増減率%
猪苗代町		58	69	-11	-15.9
磐梯町		10	14	-4	-28.6
裏磐梯		7	11	-4	-36.4
計		75	94	-19	-20.2

町村別 罪種別	猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
	23年	22年	23年	22年	23年	22年
窃盗犯計	49	56	9	10	7	10
空き巣		2				4
金庫破り						
事務所荒らし						
出店荒らし	4		1			
倉庫荒らし		1				
侵入盗その他	2	2	1		1	1
置き引き				1		
車上ねらい	3	4	1		2	1
部品ねらい	1					
脱衣場ねらい	3	3				
自販機ねらい		3				
万引き	13	12				
職場ねらい		2				
さい銭盗	1	1				
畑荒らし						
スキー・スノーボード盗	7	4	2	7	1	2
非侵入盗その他	4	16	4	1	3	2
自動車盗		1				
オートバイ盗						
自転車盗	11	5		1		
その他の乗り物盗						
暴行・傷害		1		1		
詐欺・横領	3	3				
遺失物等横領		1				
器物損壊	4	6		2		
その他の刑法犯	2	2	1	1		1
総計	58	69	10	14	7	11
増減		-11		-4		-4

◎関係機関と地域住民が一体となって犯罪の抑止に取り組んでいきましょう。

2 交通事故状況

死亡事故	1	0	0	0	0	0
増減		1		0		0
人身事故	60	61	5	12	1	5
増減		-1		-7		-4

◎PM4ライトオン。夕暮れ時の事故が目立つ季節です。早めにライトオン!

◎歩行者の皆さん。夜は反射材を着用し、光り輝く目立つ格好で歩きましょう。

募 集

就職希望の障害者と求人企業の出会いの場に

就職を希望する障害者と求人企業が一堂に会し、面接の場を設ける「障害者就職面接会」を開催します。

- 開催日時 11月29日(火) 午後1時30分～午後4時
- 開催場所 会津アピオスペース (会津若松市インター西90)
- 参加予定企業数 約25社 ※詳しくは下記まで問い合わせください。

◎ハローワーク会津若松 専門援助部門 ☎(26)3333

求職活動中の皆さんの暮らしと仕事に安心を

求職活動中の生活や就労などの相談に乗ります。生活資金、住居情報、就職支援や能力開発など、内容に応じた関係機関と連携し、さまざまな支援を行います。電話での相談にも対応しますので、お気軽に相談してください。

- ◎ふくしま求職者総合支援センター【福島窓口】福島市三河南1-20 コラッセふくしま 2階 ☎024(525)2510 開所時間 月曜日～土曜日 午前10時～午後6時30分 (水・日・祝日と年末年始は休所)
- ◎郡山窓口】郡山市島2丁目402 ふくしま地域共同就職支援センター内 ☎024(995)5057

開所時間 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時 (土・日・祝日と年末年始は休所)

消 防

大切な命を救えるのはあなたの応急手当です

あなたの大切な人が突然倒れました。大切な命を救うために「あなた」の力が必要です。

猪苗代消防署では、毎月第2土曜日の午前9時から「町民救急講座」を開催しています。誰かを「救う力」を身につけませんか。



写真は、町職員が受講した、普通救命講習の様子。心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使用法などを学びました

●6月1日から、既存住宅でも住宅用火災警報器の設置が義務化されました。設置が義務付けられたのは、「寝室」と2階に寝室がある場合の「階段室の天井」です。

火災による被害を最小限に抑え、大切な命と財産を守るため、まだ設置をしていない人は、早めに取り付けてください。

◎猪苗代消防署 ☎(62)4433

お知らせ

建設業を営む事業主と働く人の幸せのために

建退共制度は、中小企業退職金共済法に基づき建設現場の労働者の福祉の増進と建設業を営む中小企業の振興を目的として設立された退職金制度です。

この制度は、事業主の皆さんが、労働者の働いた日数に応じて掛け金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払う、業界全体での退職金制度です。

加入できるのは建設業を営む事業主で、対象となるのは建設業の現場で働く労働者。掛金は月額310円です。

●特徴

1. 国の制度なので安全、確実、申し込み手続きは簡単です
2. 経営事項審査で加点評価の対象になります
3. 掛け金の一部を国が助成します
4. 掛け金は事業主負担ですが、法人は損金、個人では必要経費として扱われます。税法上全額非課税です
5. 事業主が変わっても、退職金は企業間を通算して計算されます。

●建退共制度の特例措置

建退共では、地震などで災害救助法が適用された皆さんに対し、各種手続きの特例措置を実施しています。

●事業主の皆さんへ

- ・共済証紙は、労働者の就労日数に応じて、適正に貼付してください。
- ・「建設業退職金共済手帳」を持っている労働者が建設業界を引退するときは、忘れずに退職金を請求するように指導してください。

「建退共」のホームページには、制度説明用動画やQ&Aなどが掲載されています。ぜひアクセスしてご覧ください。詳しくは、最寄りの建退共支部にお問い合わせください。

◎建退共 福島支部 ☎024(523)1618

電話帳のリサイクルにご協力をお願いします

N T T東日本では、12月中に新しい福島県版の電話帳を、各家庭や事業所などに届けます。現在お使いの電話帳は、新しいものを届けた際に回収しますので、配達員にお渡しください。

配達時不在などで配達員に電話帳を渡せなかった場合、下記のタウンページセンタに連絡をいただければ、後日、改めて回収に伺います。

◎タウンページセンタ

☎0120(506)309(フリーダイヤル) (平日 午前9時～午後5時)

本当に必要な人が使いやすい駐車場づくりを

県では、車いすマークのある駐車スペースの適正利用を図るため、利用証を発行する「おもいやり駐車場利用制度」を実施しています。

この制度に茨城県が加わり、23年10月1日から、福島・山形・栃木・群馬・茨城の5県の協力施設(茨城県は全ての車いすマークの駐車場)で利用できるようになりました。

今後も、本当に必要な人が利用できるようにご協力をお願いします。詳しくは、利用証の申請・交付窓口にお問い合わせください。

◎保健福祉課 社会福祉業務

☎(62)2115 会津保健福祉事務所 高齢者支援チーム ☎(29)5272 県高齢福祉課 ☎024(521)7197

今月の納期	納期限11月30日)
●国民健康保険税 5期分	●介護保険料 5期分
●後期高齢者医療保険料 4期分	●上下水道使用料 11月分

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
消息欄は削除しました。ご了承ください。

※広報に氏名の掲載を希望されない場合は、窓口に申し出ください。

善意をありがとうございます

- ◎災害復興協力金として
猪苗代歌謡教室 (江花一成代表) 111,248円
花柳流みほ乃会 (花柳寿美衛師匠) 100,000円
- ◎社会福祉事業協力金として
佐藤マツさん(中ノ沢) 10,000円
- ◎教育振興協力金として
極真空手道連盟極真館福島県支部 (会津支部長田中寅雄) 30,000円

町の人口

23年10月1日現在の現住人口	
人口	15,862人
世帯数	4,991戸
出生	10人
転入	30人
死亡	16人
転出	20人

編集後記

▼数年前から準備が進められていた、正之公の生誕400年の記念行事、保科正之公の生誕400年を祝う集いが、学びいなど開かれた。震災以降、正之公のリーダーシップが見直されていることも相まって、会場はあつという間に満席となった。何百年も後に暮らす領民に、こんなにも慕われていることを正之公も喜んでいるに違いない。

▼天高く馬肥ゆる秋。ことしも肥ゆるのは馬だけではない。健康診断の結果、これまで見かけたことのない文字を見つけた「肥満」。もう一度イメージし直してみると、

肥満

何百年も後に暮らす領民が、こんなにもだらしない体形をしていることを正之公も嘆いているに違いない。(大坂)

みんなの美術館

11月は翁島小学校のお友達作品です

Our Museum



鈴木 珺乃さん(1年)

「プレゼント」

パパとママにいつもありがとうという感謝の気持ちを込めて、プレゼントを作りました。何でも好きなものを入れて使える入れ物です。ハートで作った花の模様が気に入ります。



「宇宙にいるぼく」

いつか宇宙に行ってみたいという夢を描きました。光があたっているところは色をうすく、影の部分はこくして工夫しました。自分が着ている宇宙服がかっこよく描きました。



古川 顕志郎さん(5年)

食生活改善推進員コーナー

～旬の野菜でカンタン料理～

No.174

肉団子と野菜の煮込み (メタボ予防献立)



【材料】4人分

とりひき肉 200g、長ネギ 20g、ショウガ 30g、片栗粉 大さじ1/2、チンゲン菜 2株、大根 輪切り5分、ニンジン 中1本、だし汁 4カップ、酒 大さじ1、塩 小さじ1/2

【作り方】

① チンゲン菜は食べやすい大きさに、大根とニンジンは少し大きめに切ります。

② みじん切りにした長ネギとショウガをとりひき肉、片栗粉と合わせます。粘りが出るまでこねたら、一口大の団子にします。

③ だし汁、酒、塩を入れた鍋に、大根とニンジンを入れ、やわらかくなるまで煮ます。

④ ②とチンゲン菜を入れ、最後に塩で味を整えれば出来上がり。

【一人当たりの栄養量】 エネルギー 126kcal、脂質 4.3g、タンパク質 11.5g、カルシウム 84mg、炭水化物 8.1g、食物繊維 2.2g、塩分 0.9g

■一口メモ■

メタボ予防のためには油と塩を控え、野菜を多く食べることが大切です。野菜は大きめに切って噛む回数を増やすことで、少ない量でも満足感を得ることができます。